

「認知症、要介護、死亡の要因解明と発症予測に関する地域コホート統合研究」の説明

研究へのご理解とご協力のお願い

この度、当センターにおいて「認知症、要介護、死亡の要因解明と発症予測に関する地域コホート統合研究」という研究を行います。この研究は、これまでに東京都健康長寿医療センター研究所で収集した皆様の研究データを統合して分析することにより、認知症に罹りやすい方の早期発見に結びつけるもので、研究内容は以下の通りです。皆様からの個々のご同意はいただき、この説明によって皆様にお知らせすることにより実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究へのご協力は任意であり、対象者となることを希望されない場合でも何ら不利益が生じることはございません。研究協力のご辞退、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。ご辞退される場合は本研究からのデータ削除を行います。

(1) 研究の概要について

研究課題名：要介護、死亡の要因解明と発症予測に関する地域コホート統合研究

研究期間：2020年6月15日～2025年3月31日

研究責任者：東京都健康長寿医療センター・認知症未来社会創造センター長 粟田圭一

(2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は、認知症に罹りやすい人を早期発見するために、各地域の研究データを統合し、認知症に関連する危険因子のうちどの要因がどの程度、認知症の発症に影響しているのか明らかにすることです。最終的には、その結果を視覚的にわかりやすく利用できるように、リスクチャート（図表やグラフ）を作成いたします。

(3) 研究の対象

＜以下の健診を受けた方＞ ①お達者健診（2006年以降）②SONIC調査（2010年以降、板橋地域）③高島平こころとからだの健康調査（2016年以降）④鳩山シニア健診（2010～2018年）⑤草津につこり健診（2002年以降）

＜以下の郵送調査や訪問調査に参加した方＞①高島平こころとからだの健康調査（2016年以降）②大田区シニアの健康長寿に向けた実態調査（2016年と2018年）③鳩山町シニア世代の健康長寿に向けた実態調査（2018年）④草津町高齢者生活実態調査（2014年以降）⑤養父市高齢者健康調査（2012年と2017年）⑥気仙沼市健康長寿のまちづくりのための生活実態調査（2019年）

(4) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

それぞれの研究で収集した皆様の情報と自治体から提供を受ける介護保険情報等を突合して、下記の項目をもとに認知症発生の危険因子を分析いたします。この際、要介護発生や死亡に関わる危険因子も検討いたします。項目：個人的因子（居住、家族、同居、婚姻、教育歴、収入、経済状況、就労・職歴、ライフイベント、性格特性等）、生活習慣（運動習慣、食生活、睡眠、喫煙・飲酒等）、社会・環境（外出、閉じこもり、社会参加、ソーシャルネットワーク、サポート、地域環境等）、病歴（老年症候群、生活習慣病、服薬状況、家族歴等）、医学的検査（身体計測、体組成、血液検査、尿検査、血圧等）、歯科・口腔因子、機能評価（認知機能、運動機能、視聴覚機能、生活機能・ADL・フレイル・要介護度、心理機能・メンタルヘルス・健康感等）等

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報を管理・保護いたします。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は認知症の予防活動や診療に役立てるとともに、学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(7) お問い合わせ先

住所：〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

東京都健康長寿医療センター研究所 認知症未来社会創造センター 電話：03-3964-3241(内線4253)

担当者：山下真里、阿部巧、藤原佳典